

「旭丘小学校出前授業」

水土里ネット愛知用水

平成28年10月27日(木)、尾張旭市立旭丘小学校の4年生児童を対象に出前授業を開催しました。この授業は、多面的機能支払交付金の活動組織である『濁池地域環境保全の会』が主催し、水土里ネット愛知用水の職員が講師を務めました。

愛知用水が出来るまでのお話では、雨水がたよりだった知多半島の生活、愛知用水建設に向けた久野さん浜島さんのおはなし、水源地の方々の協力があったことを伝えました。

授業の後半では、水土里ネット愛知用水副読本「愛知用水ブック」とパワーポイントを使い、水土里ネットとは何か、仕事内容や愛知用水施設の紹介、水源地域の森の大切さを伝える内容としました。

クイズでは、児童の皆さんが大変熱心に勉強してくれた様子で、全問正解する子がたくさんおり、楽しんで学習することが出来ました。

その後実施したアンケートでは、「愛知用水が何のために作られたのか出前授業でよく分かった。」「緑のダムの大切さ、水の大切さ、愛知用水の建設に沢山の人の協力があった事が解りました。」「水土里ネットの文字は、1文字に大切な意味が込められている事が解った。」といった感想をいただき、愛知用水がもたらす水の大切さ、先人たちの努力について理解を深めることができたと思います。



若杉理事のお話



愛知用水が出来るまでのお話



水土里ネットって何だろう？



濁池保全の会の方にも聞いて頂きました